

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報 【インストール説明】

Version 4.5.0

2010年2月19日

社団法人日本医師会

1 パッケージ概要

1-1 注意事項

(1) バックアップについて

このパッケージへアップグレードするとデータベースの変更が行われます。

アップグレードを行う前には必ずデータベースのバックアップを行い、エラーが発生していないことを確認してください。

アップグレード中にエラーが発生した場合に、アップグレード前のバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

また、グループ診療のためデータベース変更では、システム管理に記録されている医療機関 ID (アップグレード処理日に有効なもの) と異なる医療機関 ID を持つ行を無条件に削除します。よって、アップグレードは正常に終了しても、システム管理に想定を超えた内容の登録があった場合、すべて行削除される可能性もあります。この場合もバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

このような状態にあっては、サポートセンターへ問い合わせをされても、サポートの対象とは認めませんので悪しからずご了承ください。

(2) 処理時間について

パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。

変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能(スペック)にもよりますがかなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。

お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。

(3) バージョン 4.3.0 以前からアップグレードする場合について

各バージョンのシステムパッケージリリース情報【インストール説明】も併せて参照してください。

本資料では、バージョン 4.5.0 における情報に限り説明を行っています。

(4) テーブル変更における周辺システムとの連携について

バージョン 4.5.0 では、複数のテーブル変更を行います。中でも周辺システムとの連携において重要となるテーブルについてお知らせします。

(a) 患者番号テーブル(tbl_ptnum)の変更内容について

- ・整数型の列は numeric 型から integer 型に変更しました。

(b) ワーク診療行為テーブル(tbl_wksryact)の変更内容について

レセプト電算システムでは数量の桁数が小数点以下 5 桁まで記録が可能となり、また、コメントの記録についても関連するコメントは各レコードに設けられているコメント欄に記録するように対応を求められています。

これらに対応するため診療行為入力改修を行いましたので診療データ関係のテーブルを見直すことに

なりました。

- ・ 整数型の列は numeric 型から integer 型に変更しました。
- ・ 数量の項目について精度を 3 桁から 5 桁に変更しました。
- ・ 入力区分 1 ~ 5 を追加しました。
- ・ 換算入力数量 1 ~ 5 を追加しました。
- ・ 剤識別区分を追加しました。

ODBC 経由等でデータベースへアクセスされている場合はご注意ください。
ドキュメント

<http://orca-support-center.jp/info/program.html#20100125>

1-2 データベース構造変更

(1) 新設されたテーブル

- ・ 分娩管理テーブル(TBL_BUNBEN) 4.4.0 パッチ提供あり
- ・ 感染症テーブル(TBL_INFECTION) 4.4.0 パッチ提供あり
- ・ 患者公費負担他院テーブル(TBL_PTKOFTNETC)
- ・ 算定履歴付加テーブル(TBL_SANTEIPLUS)
- ・ 統計 C S V 格納管理テーブル(TBL_TOUKEICSV_H)
- ・ 統計 C S V 格納明細テーブル(TBL_TOUKEICSV_B)
- ・ 監査ログテーブル(MONTSUQI_AUDITLOG)

(2) 変更されたテーブル

- ・ 患者番号変換テーブル(TBL_PTNUM)
- ・ ワーク診療行為テーブル(TBL_WKSRYACT)
- ・ 入力セットテーブル(TBL_INPUTSET)
- ・ オーダ帳票テーブル(TBL_ORDERPRT)
- ・ 患者入院履歴テーブル(TBL_PTNYUINRRK)
- ・ 患者禁忌薬剤テーブル(TBL_PTKINKI)
- ・ レセプト明細書テーブル(TBL_RECEPRT)
- ・ 請求管理基本テーブル(TBL_SEIKYU_MAIN)
- ・ 診療行為テーブル(TBL_SRYACT)
- ・ 収納基本テーブル(TBL_SYUNOU_MAIN)
- ・ 収納履歴テーブル(TBL_SYURRK)
- ・ 収納合計テーブル(TBL_SYUTOTAL)
- ・ 点数付加 2 テーブル(TBL_TENSUPPLUS2)
- ・ 患者照会ビュー 1 (view_q001)
- ・ 患者照会ビュー 2 (view_q002)
- ・ 患者照会ビュー 3 (view_q003)
- ・ 入院患者照会ビュー (view_i003)
- ・ 収納ビュー 1 (view_bd001)
- ・ 収納ビュー 2 (view_bd002)

(3) データ修正

- ・ システム管理テーブル(TBL_SYSKANRI)
パッチ処理プログラムのパラメータを追加しました。
- ・ 統計覚書テーブル(TBL_TOUKEIMEMO)
パッチ処理プログラムのパラメータ説明を追加しました。
- ・ オプションテーブル(TBL_PRGOPTION)

プログラムのオプションを追加しました。

別紙「データベーステーブル仕様書」第 18 版をご確認ください。

1-3 パッケージアップグレードの方法

ここでは、アップグレードを対象に説明をします。クリーンインストールする場合は、公式ホームページの「日医標準レセプトソフトのダウンロード・インストール」をご参照ください。

(1) バックアップします。

パッケージをアップグレードする場合は、操作に先立って必ずデータベースのバックアップを行ってください。

バックアップの方法

ターミナルプログラム(gnome-terminal, kterm など)から以下のコマンドを入力します。

```
$ sudo -u orca pg_dump -0 orca > バックアップファイル名
```

圧縮する場合

```
$ sudo -u orca pg_dump -0 orca | gzip > バックアップファイル名.gz
```

(2) スキーマチェックを行います。

現在のデータベースの状態をチェックします。

最新のチェックファイルによりチェック処理を行うため以下の方法により処理を行います。

ターミナルプログラム(gnome-terminal, kterm など)から以下のコマンドを入力します。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
```

```
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
```

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk
```

```
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

処理が終了したらメッセージが表示されますが、不整合が発生した場合、作業ディレクトリ

(jma-receipt-dbscmchk/)に jma-receipt-dbscmchk.log というファイルが作成されます。

ログファイルの内容を確認してください。

整合性に問題なしと出ればスキーマは問題ないです。

(3) apt の確認をします。

[hardy の場合]

/etc/apt/sources.list.d/orca.list のエントリに以下の記述があるか確認をしてください。なければ追加あるいは変更してください。

```
deb http://www.orca.med.or.jp/pub/ubuntu hardy jma
```

または

```
deb http://www.orca.med.or.jp/pub/ubuntu hardy4.5 jma
```

[etch の場合]

/etc/apt/sources.list のエントリに以下の記述があるか確認をしてください。なければ追加あるいは変更してください。

```
deb http://www.orca.med.or.jp/pub/debian etch jma
```

または

```
deb http://www.orca.med.or.jp/pub/debian etch4.5 jma
```

(4) パッケージをダウンロードします。

ターミナルプログラム(gnome-terminal, kterm など)から以下のコマンドを入力します。(root 権限が必要)

```
# aptitude update
# aptitude dist-upgrade -dy
```

sudo の設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo aptitude update
$ sudo aptitude dist-upgrade -dy
```

ダウンロード中に中断されたなどエラーが発生していないことを確認します。エラーが発生し終了した場合は再度ダウンロードを行います。

(5) アップグレードします。

ターミナルプログラム(gnome-terminal, kterm など)から以下のコマンドを入力します。(root 権限が必要)

```
# aptitude dist-upgrade
```

sudo の設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo aptitude dist-upgrade
```

再起動について

設定によりませんが、「日レセ」パッケージのアップグレードをすると、アプリケーションは自動で再起動します。ですが、サブプロセスが終了できずにそのまま残る場合があります。

パッケージアップグレード後、再起動をしていただくときれいな状態でアプリケーションが起動できます。

(6) プログラム更新処理をします。

パッケージをアップグレードした後は、プログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。

緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

1-4 データベース構造変更の確認について

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード(インストール)が完了すると「構造 ver(自)」及び「構造 ver(ORCA)」の表示は次のようになります。

「S-040500-1-20100210-1」 平成 22 年 2 月 19 日現在

また、/var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.5.0.log というファイルが作成されますので “ERROR” という文字が含まれていないか確認します。

```
$ grep ERROR /var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.5.0.log
```

バージョン 4.3.0 以前からアップグレードする場合

診療会計テーブルを分割するにあたり、プライマリキーの重複が発生する場合がありますので、その場合はキー値を変更し、重複エラーが発生しないように対処を行っています。

該当の有無はログファイル(/var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.5.0.log)で確認できます。

無い場合は、“tbl_sryacct duplicate key nothing” が 1 件記録されます。

有る場合は、“tbl_sryacct duplicate key : hospnum=nn ptid=nnnn zainum=nnnnn count=nn”が、1件以上記録されます。

さらに、スキーマチェックを行います。

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

不整合が発生していないことを確認します。

1-5 マスタ更新データの提供について

パッケージをアップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「92 マスタ更新」を行ってください。

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新」ボタン(F12 キー)を選択すると更新処理を開始します。

提供されているマスタ更新データの最新情報は公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

マスタ更新処理プログラムは、/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ にログを書き出します。拡張子が ERR というファイルが空(0 バイト)でない場合は、対となるファイル名の拡張子 PRF というファイルの内容を確認します。(/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ の 01 は医療機関識別番号です。)

2 Version4.4.0 に対する修正プログラム提供内容

Version4.4.0 システムに適用させるため提供した修正プログラムについては、すべて当該バージョンに含まれています。提供したプログラムの修正内容については、公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。